

NIE 全国大会名古屋大会 (H29. 8. 3~4) の特集記事で

本校の授業の取組が紹介されました

平成 29 年 8 月 3 日(木)

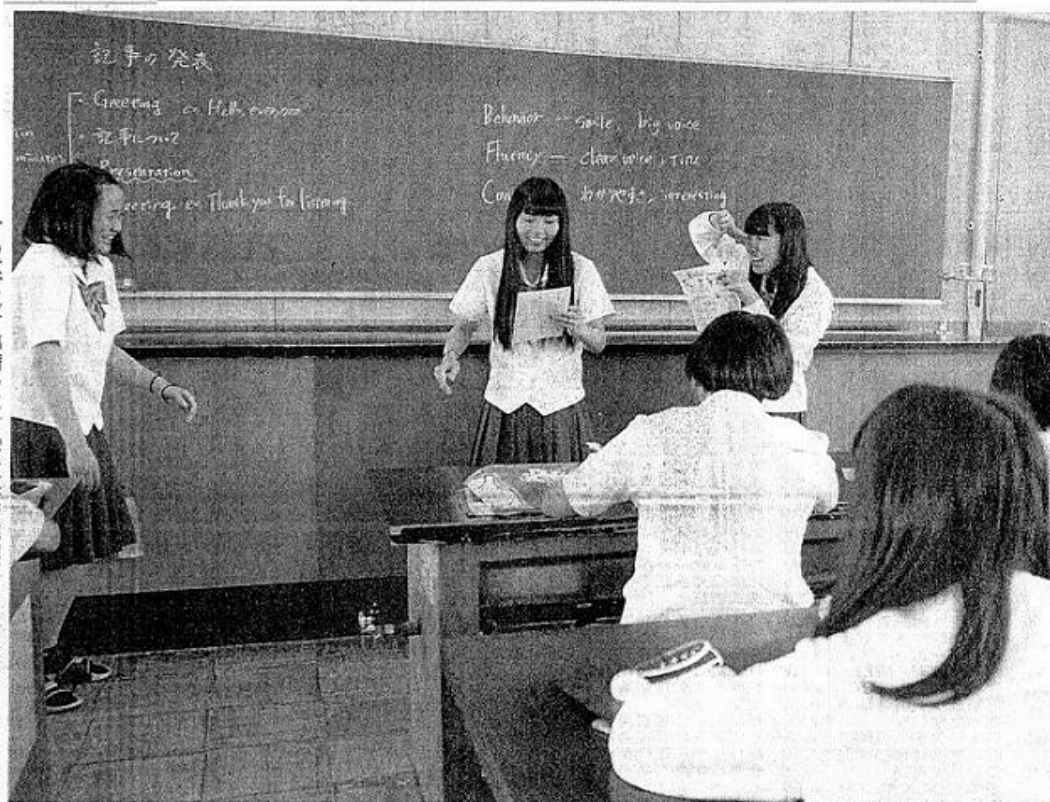
毎日新聞朝刊 愛知版

【転載許諾済】

県立杏和高

時事問題を英訳で

「知っている言葉で表現」



新聞の4コマ漫画の内容を英語でコントのように紹介する生徒たち—稲沢市の県立杏和高校で

7月中旬、稲沢市の県立杏和高校3年の英語の授業。男子生徒3人が教室の前に立ち、静岡県伊豆半島沖での米海軍イージス駆逐艦の衝突事故を報じる日本の新聞記事を見せ、発表した。

"This accident killed seven people. (事故で7人が亡くなりました)"

見出しや概要を英訳

するなどして準備した原稿を照れながら読み上げた。他にも3人1組で、高校野球の大会や将棋の藤井聡太四段を扱う記事、4コマ漫画などの内容を英語で次々と説明した。高羽亜紀教諭は "good job"と褒め、「知っている言葉で表現することが大事。これらも外国の人に会ったら、楽しんで英語を使ってみて」と呼び掛けた。

イージス艦を取り上げた岩井洗樹さんは

「教科書で勉強するのはと違い、自分たちで調べることが楽しかった」と胸を張った。

同高はNIE実践指定校になって3年目で、学校を挙げて取り組む。全生徒が「新聞切り抜き作品」を作成し、新聞1面コラムの書き写しなどもする。廊下に新聞が置いてあり、いつでも読める。

「子どもの発達と保育」「消費生活」などといった科目がある。授業では学習内容と直結する生の動きを新聞

で読み、意見を書き、話し合う。例えば、保育分野への進学や就職を目指す生徒たちは、保育士の給与水準や待機児童に関わる記事を扱った。橋本宏恵教諭は「保育士になりたい」と言いながらも「こか入ごだった生徒が、保育を自分たちの問題として読み込むようになった」とみる。

全体として、多くの生徒が文章を書くことに慣れ、記事に対するコメントもしっかりしてきたという。

新聞の活用 議論

NIE名古屋大会きょうあす